

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公表番号】特表2002-504113(P2002-504113A)

【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)

【出願番号】特願平11-502524

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/032

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/50

【F I】

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/032

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/50

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書



平成17年3月17日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第502524号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ロレアル



3. 代 理 人

居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
新 大 手 町 ビ ル デ ン グ 3 3 1
電 話 (3211) 3651 (代表)
氏 名 (6669) 渋 木 告



4. 補正により増加する請求項の数 3

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容 別紙のとおり



請求の範囲

1. - 水溶液中で2分子層を形成する能力をもつ少なくとも1つの有機リン脂質；
 - 少なくとも1つの両性界面活性剤；及び
 - 前記少なくとも1つのリン脂質の量以上の重量で存在する少なくとも1つの非イオン界面活性剤；を含んで成る組成物。
2. さらに水を含んで成る請求項1に記載の組成物。
3. 前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、前記少なくとも1つのリン脂質の量より大きい重量で存在する、請求項1に記載の組成物。
4. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤が、前記少なくとも1つのリン脂質の量より大きい重量で存在する、請求項1に記載の組成物。
5. 水溶液中で2分子層を形成する能力をもつ前記少なくとも1つの有機リン脂質がレシチンである請求項1に記載の組成物。
6. 前記少なくとも1つのリン脂質、及び前記少なくとも1つの両性界面活性剤は、少なくとも1つの水不溶性成分を水溶液中に取込むことを可能にするのに充分な組合せ量で存在する、請求項1に記載の組成物。
7. 前記少なくとも1つの水不溶性成分が、中和されていない及び部分的に中和された水不溶性ポリマー、樹脂及びラテックスの中から選択されている、請求項6に記載の組成物。
8. 前記水不溶性ポリマー、樹脂及びラテックスが少なくとも1つのカルボキシル成分を含有している、請求項7に記載の組成物。
9. 前記少なくとも1つの水不溶性成分が親油性成分である、請求項6に記載の組成物。
10. 前記親油性成分がシリコーン、油溶性ビタミン、セラミド、天然油、日焼け止め又はそれらの混合物である、請求項6に記載の組成物。
11. 前記少なくとも1つの非イオン性界面活性剤が、少なくともC₈～C₂₄の脂肪アルコール、C₈～C₂₄の脂肪酸又はC₈～C₂₄グリセリドから形成されている、請求項1に記載の組成物。
12. 前記少なくとも1つの非イオン性界面活性剤が少なくとも10のHLBを

有する、請求項 1 に記載の組成物。

13. 前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤がベタイン、スルテイン、ヒドロキシスルテイン、両性 2 酢酸アルキル、両性 2 プロピオニ酸アルキル、イミダゾリン及びその塩の中から選択されている、請求項 1 に記載の組成物。

14. 前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤がコカンフォジプロピオネート又はコカミドプロピルヒドロキシスルテインである、請求項 13 に記載の組成物。

15. 前記少なくとも 1 つの有機リン脂質が組成物の合計重量との関係において 0 以上 5 重量%までの量で存在している請求項 1 に記載の組成物。

16. 前記少なくとも 1 つの有機リン酸脂質が組成物の合計重量との関係において 5 重量%の量で存在する、請求項 12 に記載の組成物。

17. 前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、組成物の合計重量との関係において 5 ~ 20 重量%の量で存在する請求項 1 に記載の組成物。

18. 前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、組成物の合計重量との関係において 10 ~ 20 重量%の量で存在する請求項 17 に記載の組成物。

19. 前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤が、組成物の合計重量との関係において 2 ~ 25 重量%の量で存在する請求項 1 に記載の組成物。

20. 前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤が、組成物の合計重量との関係において 6 % ~ 25 % の量で存在する請求項 7 に記載の組成物。

21. 前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤が、組成物の合計重量との関係において 4 ~ 20 重量%の量で存在する請求項 9 に記載の組成物。

22. 前記少なくとも 1 つ有機リン脂質、前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤及び前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、重量で 1 : 0. 8 : 2 以上の比率で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

23. 前記少なくとも 1 つの有機リン脂質、前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤及び前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、重量で 1 : 1. 2 : 3 以上の比率で存在する、請求項 7 に記載の組成物。

24. 前記少なくとも 1 つの有機リン脂質、前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤及び前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、重量で 1 : 1. 2 : 4 以上の比率で存在する、請求項 23 に記載の組成物。

25. 前記少なくとも 1 つの有機リン脂質、前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤及び前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、重量で 1 : 1 . 2 : 2 以上の比率で存在する、請求項 9 に記載の組成物。

26. — 水溶液中で 2 分子層を形成する能力をもつ少なくとも 1 つの有機リン脂質；

- 少なくとも 1 つの両性界面活性剤；
- 少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤；
- 少なくとも 1 つの水不溶性成分；及び
- 水性相；

を含んで成る水不溶性成分のための送達系において、前記少なくとも 1 つの有機リン脂質、前記少なくとも 1 つの両性界面活性剤及び前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が、前記少なくとも 1 つの水不溶性成分をこの系内に取り込むことを可能にするのに充分な組合せ量で存在する、送達系。

27. 前記少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤が前記少なくとも 1 つの有機リン脂質の量以上の重量で存在する、請求項 2 6 に記載の水不溶性成分のための送達系。

28. 前記水性相が、アニオン界面活性剤、有機塩、無機塩、タンパク質、ヘヤダイ、水溶性ポリマー及びアミノ酸から選択された付加的な成分をさらに含んでいる、請求項 2 6 に記載の送達系。

29. 前記少なくとも 1 つの水不溶性成分が、中和されていない及び部分的に中和された水不溶性ポリマー、樹脂及びラテックスの中から選択されている、請求項 2 6 に記載の送達系。

30. 前記水不溶性ポリマー、樹脂及びラテックスが少なくとも 1 つのカルボキシル成分を含有している、請求項 2 9 に記載の送達系。

31. 前記少なくとも 1 つの水不溶性成分が親油性成分である、請求項 2 6 に記載の送達系。

32. 前記親油性成分がシリコーン、油溶性ビタミン、セラミド、天然油、日焼け止め又はそれらの混合物である、請求項 3 1 に記載の送達系。

33. 水溶液中で 2 分子層を形成する能力をもつ前記少なくとも 1 つの有機リン

脂質がレチシンである請求項26に記載の送達系。

34. 前記少なくとも1つの非イオン性界面活性剤が、少なくともC₈～C₂₄の脂肪アルコール、C₈～C₂₄の脂肪酸又はC₈～C₂₄グリセリドから形成されている、請求項26に記載の送達系。

35. 前記少なくとも1つの非イオン性界面活性剤が少なくとも10のHLBを有する、請求項26に記載の送達系。

36. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤がベタイン、スルテイン、ヒドロキシスルテイン、両性2酢酸アルキル、両性2プロピオニ酸アルキル、イミダゾリン及びその塩の中から選択されている、請求項26に記載の送達系。

37. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤がコカンフォジプロピオネート又はコカミドプロピルヒドロキシスルテインである、請求項36に記載の送達系。

38. 前記少なくとも1つの有機リン脂質が、前記送達系の合計重量との関係において0～5重量%の量で存在している、請求項26に記載の送達系。

39. 前記少なくとも1つの有機リン脂質が送達系の合計重量との関係において5重量%の量で存在する、請求項38に記載の送達系。

40. 前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、送達系の合計重量との関係において5～20重量%の量で存在している、請求項27に記載の送達系。

41. 前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が送達系の合計重量との関係において10～20重量%の量で存在する、請求項40に記載の送達系。

42. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤が送達系の合計重量との関係において2～25重量%の量で存在している、請求項27に記載の送達系。

43. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤が送達系の合計重量との関係において6～25重量%の量で存在している、請求項29に記載の送達系。

44. 前記少なくとも1つの両性界面活性剤が送達系の合計重量との関係において4～20重量%の量で存在している、請求項31に記載の送達系。

45. 前記少なくとも1つの有機リン脂質、前記少なくとも1つの両性界面活性剤及び前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、送達系の合計重量との関係において重量で1：0.8：2以上の比率で存在している、請求項27に記載の送達系。

46. 前記少なくとも1つの有機リン脂質、前記少なくとも1つの両性界面活性剤及び前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、送達系の合計重量との関係において重量で1：1．2：3以上の比率で存在している、請求項29に記載の送達系。

47. 前記少なくとも1つの有機リン脂質、前記少なくとも1つの両性界面活性剤及び前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、送達系の合計重量との関係において重量で1：1．2：4以上の比率で存在している、請求項46に記載の送達系。

48. 前記少なくとも1つの有機リン脂質、前記少なくとも1つの両性界面活性剤及び前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤が、送達系の合計重量との関係において重量で1：1．2：2以上の比率で存在している、請求項31に記載の送達系。

49. 前記少なくとも1つの有機リン脂質がレシチンであり、前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤がPPG-5-Cetech-20及びOleth-10から選択され、前記少なくとも1つの両性界面活性剤がコカンフォ2プロピオニ酸2ナトリウムである、請求項26に記載の送達系。

50. 前記系が、シャンプー、コンディショナ、毛髪用ディープトリートメント、ボディ洗浄剤、バスジェル、バスオイル、ヘヤダイ組成物、パーマ処方剤、メークアップ組成物、スキンクリーム、又はローションの形態をしている、請求項26に記載の送達系。

51. 前記メークアップ組成物がマスカラ又はファンデーションである、請求項50に記載の送達系。

52. (a) 前記有機リン脂質、前記非イオン界面活性剤及び前記両性界面活性剤を組合わせて混合物を得る段階；

(b) 段階(a)で得られた混合物を加熱する段階、

(c) 希釀した混合物を形成するべく水溶液を添加する段階、

(d) 前記希釀した混合物を冷却する段階を含んで成る、請求項26に記載の送達系の調製方法。

53. 水不溶性成分が段階(a)の混合物に添加される、請求項52に記載の方

法。

54. 一 水溶液中で2分子層を形成する能力をもつ少なくとも1つの有機リン脂質：少なくとも1つの両性界面活性剤；前記少なくとも1つのリン脂質の量以上の重量で存在する少なくとも1つの非イオン界面活性剤、及び少なくとも1つの水不溶性成分を含む水溶液を調製する段階であって、前記少なくとも1つのリン脂質、前記少なくとも1つの非イオン界面活性剤及び前記少なくとも1つの両性界面活性剤が、前記水不溶性成分を前記水溶液中に取込むことを可能にするのに充分な組合せ量で存在する段階；及び

一 前記水溶液をケラチン性物質に塗布する段階；
を含んで成る、ケラチン性物質の処置方法。

55. 前記処置が、シャンプー、コンディショニング、ヘヤダイ、脱色、パーマ、縮れ毛緩和、セット、モイスチュアライジング、メイクアップを含んで成る、請求項54に記載の方法。

56. 前記ケラチン性物質が毛髪、皮ふ及びまつ毛を含む、請求項55に記載の方法。

57. メイクアップが、まつ毛にマスカラを又は顔の皮ふにファンデーションを塗布すること含んで成る、請求項55に記載の方法。

58. 水溶液中で2分子層を形成する能力をもつ少なくとも1つの有機リン脂質：少なくとも1つの両性界面活性剤；前記少なくとも1つのリン脂質の量以上の重量で存在する少なくとも1つの非イオン界面活性剤、少なくとも1つの多糖類樹脂、及び少なくとも1つの顔料を含む組成物。

59. 水溶液中で2分子層を形成する能力をもつ少なくとも1つの有機リン脂質：少なくとも1つの両性界面活性剤；前記少なくとも1つのリン脂質の量以上の重量で存在する少なくとも1つの非イオン界面活性剤、少なくとも1つの多糖類樹脂、及び前記の多糖類樹脂以外の少なくとも1つのフィルム形成剤を含む組成物。

60. 顔料を更に含む請求項59に記載の組成物。